

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	岩手県		代表者名	達増拓也	
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	宮古農林振興センター	連絡先電話番号	0193-64-2214
担当者役職	主任主査	担当者氏名	吉田雅紀	連絡先E-mail	
住所	020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	宮古地域園芸経営体育成事業		
概要	地域の実情に適したスマート農業技術の選定にかかる現地調査時の助言・支援（実地）、当該技術の特徴、実装に向けたポイントを学ぶ研修会（オンライン）				
支援を求める分野	農林水産業				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年11月21日	講演(オンライン)	15時30分	17時00分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	福田 浩一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	中山間地域や海外での事例の紹介では、専門知識や経験に基づき適切な支援・助言をいただいた。また生成AIやARのデモ等により、最新のICTを活用した農業者の支援方法への理解が進んだ。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	20人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	14	4	2	

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	岩手県宮古地域は露地野菜のプロックリーやピーマン、きゅうり等、複数品目の組み合わせによる複合経営が多いため、高額なスマート農業機械導入のメリット感は低い。また、宮古地域の園芸生産は、繁忙期の労働力が不足しているため、スマート農業機器の導入に加え、ICTを活用することで経営の見える化に取り組み、経営改善を図っていく必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	宮古地域の農業経営（野菜生産）に適したスマート農業技術を選定し、農業経営の改善に向け指導ができる人材が育成され、農業者に対し適切な支援を行うことで、「販売額1千万円を超える中核的園芸農家」が増加し、地域経済の活性化や新たな雇用機会を創出する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	8月6日、7日に実地で指導いただいた内容を含めた中山間地や海外でのスマート農業技術導入事例及びその評価について説明していただいた。加えて、ICTを活用した農業経営や指導に向け、生成AIやAR(拡張現実)などのツールが紹介と利用法について助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	データを活用した農業経営の重要性と生成AI等の最新技術が農業経営指導に活かせることが明らかとなり、高い効果が期待できると考えられた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	生成AIやAR(拡張現実)などのツールを活用した農業者等への支援は、各ツールへの理解の醸成や活用場面、方法などについて検討が必要であり、継続した支援が望まれる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 スマート農業の評価や生成AIの活用等について、わかりやすく説明され、地域のオープンデータのあり方への助言もあった。 アンケートの結果(回収数13) 「研修内容」を有益である者の割合は100%(非常に有益が6、有益が7) 説明のわかりやすさも、わかりやすいとした者の割合は100%(非常にわかりやすい7、わかりやすい6)	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 地域経済の活性化や新たな雇用機会の創出が図られるよう、経営規模や品目に応じたスマート農業技術の選定、実装に向け、生成AI等のICTを効果的に活用していきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	宮古地域に適したスマート農業技術の選定及び実装を進める事ができる人材が育成され、農業者に対し適切な支援を行うことで、「販売額1千万円を超える中核的園芸農家」が増加し、地域経済の活性化や新たな雇用機会の創出につながる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可  掲載可

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子  
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

